

笑顔で働くための「みんなの働き方宣言」



ダイコク産業 株式会社

住所 〒450-8640
名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

従業員数 84名 資本金 3,500万円

業種 サービス業 創業 2013年

HP <https://daikoku-sangyo.co.jp/top/>

企業ご紹介

東証プライム上場企業のダイコク電機株式会社の子会社で、遊戯施設へのサービス支援サービス支援を行うなど、「遊技ファン」「遊技場」「遊技機メーカー」のパートナーとしてエンターテインメントを創造しています。

抱えていた
課題について

最近では繁忙期が続き長時間労働が増えていたことから、働き方の見直しが必要となっていた。また育児・介護両立支援制度の利用実績が少なく、女性従業員の登用が進まないなど様々な課題を抱えている。

課題の
ピックアップ

01

業務量の増大に伴う長時間労働

繁忙期が続きお客様へのサービス担当従業員の長時間労働が増えていた。年休も取りづらい雰囲気があるなど、時間・休日に関する意識の低さと長時間労働の実態を変え、従業員の働き方を改善することが急務となっていた。

02

育児・介護両立支援制度の利用実績が少ない

育児・介護両立支援制度はあるものの、利用実績が少なく従業員の実態も把握していない状態だった。従業員への制度周知や両立支援策の拡充など従業員が安心して長く働ける職場環境づくりが必要と感じていた。

03

女性が活躍できる環境の不足

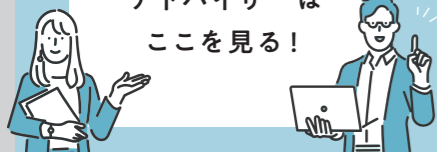
全社的に女性従業員の比率が低く女性管理職もほとんどいない。会社としてダイバーシティ部会はあるものの、女性が活躍できる職場づくりや女性管理職育成のための研修制度などが不足している。



課題の解決に向けて

フレックスタイム制や育児・介護両立支援制度はあくまで手段の一つ。目的は働きがいのある環境を整え、従業員の力を発揮しやすくし、楽しく働き続けられる職場にすることです。様々な課題に対し、みなさんのアイデアで計画を立て地道に実行していくことが大切です。

アドバイザーは
ここを見る！



取り組み

01

フレックスタイム制の導入と働き方への意識改善

勤務時間が不規則で長時間労働が多いサービス担当従業員を対象に、コアタイム無しのフレックスタイム制を導入。さらに付箋会議や役割分担を工夫した会議運営を行うことで、労働時間の見直しを行った。また、「ワークライフマネジメント推進」を従業員に発信し、働き方に対する意識の改善に取り組んだ。

02

育児・介護両立支援制度の広報・支援体制を構築

不安なし！を合言葉に制度自体をよく知らない従業員や現在休業中の従業員に向けて、育児・介護発生時の不安・悩みを解消するため、社内報で制度内容と過去の経験者の体験談を発信。また社内に相談窓口を設置し誰でも気軽に相談できる体制を構築した。

03

ダイバーシティ部会を強化し女性の活躍を推進

女性従業員の不在部署ゼロを目指しダイバーシティ部会の取り組みを強化。女性管理職育成のためのメンター研修とマネジメント研修の実施を検討することとした。同時に男性管理職にも研修を行い、全社的な意識改革を行うことで多様な人材が活躍できる企業を目指す。



いくら良い制度を作っても利用する従業員の意識が変わらなければ実現しません。その点、社長が全従業員に「ワークライフマネジメント推進」宣言をしていただいたことは非常に有意義です。今後は自分達で自走することになりますが、毎年目標を決めアクションプランを作成・実行していくことで着実にステップアップできると確信します！



達成した結果

ワークライフマネジメントを実現していくための基盤づくり

フレックスタイム制による長時間労働への対策をはじめ、従業員の育児・介護への不安解消・女性の活躍推進への環境づくりなど、様々な働き方改革の実現に取り組むことができた。これからは「みんなの働き方宣言」を目標にダイバーシティ部会をさらに活性化させるとともに、ワークライフマネジメントへの取り組み方針を社外へも発信していく。

企業の声



業務チーム 武藤 有加里 様

単に制度の説明だけでなく、「なぜ変えなければならないのか」「変わると自分の生活がどう良くなるのか」の意義目標を伝えることが重要。この教えを実践した結果、従業員の時間意識が変わり始めたかな？と感じます。今後もアドバイザー活動で学んだ問題解決手法を活用し来年以降は自力で効果を出していきます。